

■西園寺公衡 公卿。関東申次。西園寺実兼の子。京極為兼と対立し、亀山上皇側に立って活動した。

さいおんじきんひら

・ ・ ・ ・ ・ 1264＝ 生。父は太政大臣西園寺実兼。母は内大臣中院通成の女，従一位顕子。
・ ・ ・ ・ ・ 1265＝ 1歳：叙爵。

北条時宗執権 1268＝ 4歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1273＝ 9歳：

元寇文永の役 1274＝10歳：

侍従を経て左中將から，
・ ・ ・ ・ ・ 1276＝12歳：従三位(非参議)に叙す。

元寇弘安の役 1281＝17歳：

日蓮没・ ・ ・ 1282＝18歳：

沙石集・ ・ ・ 1283＝19歳：*参議，権中納言に任じ，日記を始め，

北条時宗没・ 1284＝20歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1287＝23歳：使別当(左衛門督)に補す。

・ ・ ・ ・ ・ 1288＝24歳：_同母妹鐘子(永福門院)が伏見天皇の中宮になると中宮大夫を兼ねた。

・ ・ ・ ・ ・ 1290＝26歳：_浅原為頼が宮中に乱入し天皇殺害をはかる事件があった際，公衡は事件の背後に亀山院があるとして大いに弁じたが，伏見天皇が京極為兼を登用し疎隔が生ずると，亀山院側に接近をはかる。

・ ・ ・ ・ ・ 1291＝27歳：

平禅門の乱・ 1293＝29歳：

・ ・ ・ ・ ・ 1298＝34歳：内大臣，

一山一寧来日 1299＝35歳：*右大臣に進むも，これを辞し，関東申次となる。

・ ・ ・ ・ ・ 1300＝36歳：

後二条天皇・ 1301＝37歳：従一位に昇叙される。同母妹瑛子(昭訓門院)が亀山法皇の宮に入り，

・ ・ ・ ・ ・ 1303＝39歳：恒明親王を生んだ。

・ ・ ・ ・ ・ 1305＝41歳：_亀山法皇は後宇多上皇に書を送って恒明親王を将来の帝王とすべきだとして公衡に補弼を託した。また法皇没後の遺領処分を委託された。法皇が死去すると，かねて法皇の方針に不満であった後宇多上皇と対立，勅勘を受けて伊予・伊豆の両国を没収されたが，幕府の介入によって許された。

・ ・ ・ ・ ・ 1306＝42歳：_女寧子(広義門院)を後伏見上皇の宮に入れ，再び持明院統への接近をはかり，

・ ・ ・ ・ ・ 1309＝45歳：*左大臣に任じると，高階隆兼に超豪華版の「春日権現験記絵巻」を描かせて春日社に奉納などするが，

・ ・ ・ ・ ・ 1311＝47歳：*辞任し，出家して，

・ ・ ・ ・ ・ 1315＝51歳：_没した。

33年間の日記「公衡公記」(「竹林院左府記」「林中記」ともいう)を遺した。